

わたしたちが聖別の中で責められるところのないものにされる要因と、
わたしたちが、わたしたちの霊と魂と体において完全に聖別される要因

聖書：I テサロニケ 3:13, 5:23-24

心を堅固にし、聖別の中で責められるところのないものにされる	I テサロニケ 3:13 どうか、わたしたちの主イエスが、彼のすべての聖徒と共に来臨する時、わたしたちの神また父の御前で、 あなたがたの心を堅固にし、聖別の中で責められるところのないものにして くださいますように。
霊と魂と体において完全に聖別される	I テサロニケ 5:23 そして平和の神ご自身が、あなたがたを 徹底的に聖別し、あなたがたの霊と魂と体 とを守って、わたしたちの主イエス・キリストの来臨の時に、 完全で責められるところのない者 にしてくださいますように。

I	わたしたちの心を堅固にし、聖別の中で責められるところのない(わたしたちの聖別の中で何の欠点もない)ものにしてくださる	A-B	心の地位、心の機能(心を認識する)
		C-G	心が変わりやすく、心の更新が必要(心を更新する)
		H-I	心が対処され、心が堅固にされる(心に対処する)
II	わたしたちの霊、魂、体が完全に聖別される	A-B	霊、魂、体を性情において聖化する
		C	聖別の中で、わたしたちの霊を守る
		D	聖別の中で、わたしたちの魂を守る
		E	聖別の中で、わたしたちの体を守る

まとめ 召会生活のための聖なる生活と主の来臨	
心が堅固にされる	わたしたちの心が更新される わたしたちの心に対処する
完全に聖別される	霊的な健康を維持する 聖なる生活をする

わたしたちの心を堅固にし、聖別の中で責められるところのない(わたしたちの聖別の中で何の欠点もない)ものにしてくださる

I. わたしたちは、召会生活のための聖なる生活をするために、主がわたしたちの心を堅固にし、聖別の中で責められるところのない(わたしたちの聖別の中で何の欠点もない)ものにしてくださることを必要とします—— I テサロニケ 3:13 :

A-B(心を認識する)——心の地位、心の機能

***心の地位**

A. 心は、人の内側の各部分の集合体、人の総代表であって、人の行動の機関です：

心の構成

- わたしたちの心は、わたしたちの魂のすべての部分、すなわち、思い、感情、意志 (マタイ 9:4. ヘブル 4:12. ヨハネ 14:1. 16:22. 使徒 11:23) と、それに加えてわたしたちの霊の一部分、すなわち、良心 (ヘブル 10:22. I ヨハネ 3:20) で構成されています。

霊、魂、体との関係

- わたしたちの心と神の御前でのわたしたちの心の状態は、神の御前でのわたしたちの霊、魂、体の状態と、有機的で、内在的で、分離することのできない関係にあります：
 - わたしたちの心が活動しているときはじめて、霊を活用することは役に立ちます。もし人の心が無関心であるな

- ら、霊は内側に閉じ込められており、その能力を発揮することができません——マタイ 5:3, 8. 詩 78:8. エペソ 3:16-17。
- b. 魂はパースンそのものですが、心は行動におけるパースンです。心は、わたしたちの全存在の行動の機関、行動の執行者です。
- c. わたしたちの物質の体の活動と行動は、わたしたちの物質の心（心臓）に依存しています。同様に、わたしたちの日常生活、わたしたちが活動し振る舞う方法は、わたしたちがどのような心理上の心を持っているかにかかっています。

*心の機能

- B. 心は、命の入り口と出口であり、命の「スイッチ」です。もし心が正しくなければ、霊の中の命は妨げを受け、命の法則は自由に妨げなしに働くことができず、わたしたちの存在のあらゆる部分に到達することはできません。命は大きな力を持っていますが、この大きな力はわたしたちの小さな心によってコントロールされます——**箴 4:23**. マタイ 12:33-37. 参照、エゼキエル 36:26-27。

*箴 4:23 何ものにもまさってあなたの心を見守れ、そこから命の流れが出てくるからである。

*Keep your heart with all vigilance, For from it are the issues of life

C-G(心を更新する)——心は変わりやすいので、心は更新される必要があまり

*心は変わりやすい

- C. 神は変わることはない方です。しかし、わたしたちの天然の誕生によれば、わたしたちの心は、人との関係においても主との関係においても、変わりやすいのです——参照、IIテモテ 4:10. マタイ 13:3-9, 18-23。
- D. 天然の、人の命によれば、心が確固としている人は一人もいません。わたしたちの心はとても容易に変わるので、それは全く信頼に値しません——エレミヤ 17:9-10. 13:23。
- E. わたしたちの心が責められるのは、それが変わりやすいからです。変わることはない心は、責められるところのない心です——詩 57:7. 108:1. 112:7。

*心の更新の必要

- F. 神の救いにおいて、心が更新されることは一度で永遠のことです。しかしながら、わたしたちの経験において、わたしたちの心は絶えず更新されます。なぜなら、それは変わりやすいからです——エゼキエル 36:26. IIコリント 4:16。
- G. わたしたちの心は変わりやすいので、聖別する霊によって絶えず更新される必要があります。それによってわたしたちの心は、聖とされる状況の中で、すなわち、神へと分離され、神によって占有され、神によって所有され、神で浸透される状況の中で、堅固にされ、建て上げられることができます——テトス 3:5. ローマ 6:19, 22。

H-I(心を対処する)——心の対処、心を堅固にする

*心の対処

- H. わたしたちは、召会生活のための聖なる生活をするに於いて「聖別されつつある者たち」となるために、「聖別する」方の内なる働きと協力して、わたしたちの心に対処しなければなりません——ヘブル 2:11. 詩 139:23-24 :
1. 神は、わたしたちの心が柔らかいことを願っています——エゼキエル 36:26. マタイ 13:4, 19. IIコリント 5:14. 参照、出 32:9. エレミヤ 48:11。
 2. 神は、わたしたちの心が純粹であることを願っています——マタイ 5:8. 詩 73:1, 25. エレミヤ 32:39. 詩 86:11 後半. IIテモテ 2:22. Iテモテ 1:5。
 3. 神は、わたしたちの心が愛する心であることを願っています——詩 42:1-2. 雅 1:1-4. IIコリント 3:16. IIテサロニケ 3:5. 補充本詩歌 240, 241 番. エペソ 6:24. ヨハネ 15:9-10. 21:15-17. マタイ 26:6-13. Iヨハネ 2:5。
 4. 神は、わたしたちの心が平安であることを願っています——使徒 24:16. Iヨハネ 3:19-21. ヘブル 10:22. Iヨハネ 1:7, 9. Iテモテ 1:5. ピリピ 4:6-7. コロサイ 3:13-15。

*更新により心が堅固にされる

- I. わたしたちの心が、聖別する霊の絶え間のない更新によって堅固にされ、聖別の中で責められるところのないものにされつつあるとき、わたしたちは、神聖な命の新しさを持つ新エルサレムになりつつあり、また神聖な性質の聖を持つ聖なる都になりつつ

つあります——啓 21:2. I ヨハネ 5:11-12. II ペテロ 1:4.

わたしたちの霊、魂、体が完全に聖別される

II. 神は、彼の法理的な贖いにおいて、キリストの贖う血によって、わたしたちを地位において聖として、彼ご自身へと分離しただけでなく、また彼の有機的な救いにおいて、彼ご自身の聖なる性質によって、わたしたちを性情において聖化して、彼ご自身で浸透しつつあります——ヘブル 13:12. 10:29. ローマ 6:19, 22. エペソ 5:26. I テサロニケ 5:23-24 :

*霊、魂、体を性情において聖化する

A. 神がわたしたちの霊、魂、体を性情において聖化することは、わたしたちを神聖に「息子化」して、わたしたちを神の子たちとすることです。それはわたしたちが、神格においてではなく命と性質において神と同じになるためであり、それによってわたしたちは神の表現となることができます——エペソ 1:4-5. ヘブル 2:10-11。

*霊、魂、体が完全に守られる

B. 神はわたしたちを聖別することによって、わたしたちの霊、魂、体の本質においてわたしたちを造り変え、性質においてわたしたちを徹底的に彼のようにします。このようにして、彼はわたしたちの霊、魂、体を徹底的に完全に守ります——I テサロニケ 5:23 :

1. 量の面では、神はわたしたちを徹底的に聖別します。質の面では、神はわたしたちを守って、完全にします。すなわち、わたしたちの霊、魂、体を守って完ぺきにします。
2. 神はわたしたちを守りますが、わたしたちは責任を担い、率先し、彼の働きと協力して、わたしたちの霊、魂、体を聖霊の浸透の中に保つことによって守られるようにする必要があります——12-24 節。

*聖別の中でわたしたちの霊を守る

C. わたしたちは神と協力して、聖別の中でわたしたちの霊を守るために、わたしたちの霊を活用することによって、わたしたちの霊を生き生きとした状態に保たなければなりません :

1. わたしたちの霊を守るために、わたしたちは霊を活用して神と交わりを持つことによって、わたしたちの霊を生き生きとしたものに保たなければなりません。もしわたしたちがこのように霊を活用しないなら、わたしたちの霊を死んだ状態の中にとどめておくことになります :
 - a. 喜び、祈り、感謝することは、わたしたちの霊を活用することです。わたしたちの霊を守ることは、まずわたしたちの霊を活用して、わたしたちの霊を生き生きとしたものに保ち、わたしたちの霊を死の中から引き出すことです——16-18 節。
 - b. わたしたちは聖別する神と協力して、霊を死なせる状況から分離される必要があります——参照、民 6:6-8. II コリント 5:4。
 - c. わたしたちは、わたしたちの霊の中で、またわたしたちの霊を用いて、神を礼拝し、神に仕え、神と交わらなければなりません。わたしたちであるすべて、わたしたちが持っているすべて、わたしたちが行なうすべては、わたしたちの霊の中になければなりません——ヨハネ 4:24. ローマ 1:9. ピリピ 2:1。
2. わたしたちの霊を守るために、わたしたちの霊をあらゆる汚れと汚染から逃れさせる必要があります——II コリント 7:1。
3. わたしたちの霊を守るために、わたしたちは自分自身を訓練して、神と人に対して、とがめのない良心を持たなければなりません——使徒 24:16. ローマ 9:1. 参照、8:16。
4. わたしたちの霊を守るために、わたしたちは自分の霊に注意を払い、思いを霊に付け、わたしたちの霊の中の安息を顧慮しなければなりません——マラキ 2:15-16. ローマ 8:6. II コリント 2:13。

*聖別の中でわたしたちの魂を守る

D. わたしたちは神と協力して、聖別の中でわたしたちの魂を守るために、わたしたちの心理上の心の三つの主要な「動脈」、すなわち、わたしたちの魂の各部分であるわた

- 私たちの思い、感情、意志を清めなければなりません——ピリピ 2:2, 5, 1:8, 2:13:
1. わたしたちの魂が聖別されるために、わたしたちの思いは更新されてキリストの思いとならなければならず (ローマ 12:2)、わたしたちの感情はキリストの愛で触れられ浸透されなければならず (エペソ 3:17, 19)、わたしたちの意志は復活したキリストによって征服され、復活したキリストを注入されなければなりません (ピリピ 2:13. 参照、雅 4:4 前半, 7:4 前半)。そしてわたしたちは自分の全存在をもって主を愛さなければなりません (マルコ 12:30)。
 2. わたしたちの心理上の心の三つの主要な動脈を詰まらせているものを取り除く方法は、主に対して徹底的な罪の告白をすることです。わたしたちは一定の時間、主の御前にとどまって、わたしたちを完全に光の中へともたらせてくださるよう主に求める必要があります。そして、彼が暴露してくださることの光の中で、わたしたちは自分の欠点、失敗、敗北、誤り、悪事、罪 (複数) を告白する必要があります——I ヨハネ 1:5-9:
 - a. わたしたちの思いという動脈を詰まらせているものを取り除くために、わたしたちは自分の思想や考え方において罪深いすべての事を告白する必要があります。
 - b. わたしたちの感情という動脈を詰まらせているものを取り除くために、わたしたちは、自分の喜びや悲しみを表した方法が天然的であり肉的でさえあること、また多くの時、わたしたちは愛すべきものを憎み、憎むべきものを愛していることを、告白する必要があります。
 - c. わたしたちの意志という動脈を詰まらせているものを取り除くために、わたしたちは自分の意志の中にある反逆の病原菌を告白する必要があります。
 - d. わたしたちは、十分な時間を費やして、わたしたちの心理上の心の三つの主要な動脈を詰まらせているものを取り除くなら、自分の全存在が生き生きとして、とても健康な状態にあるという感覚を持つでしょう。

*聖別の中でわたしたちの体を守る

- E. わたしたちは神と協力して、聖別の中でわたしたちの体を守るために、わたしたちの体を彼にささげなければなりません。それはわたしたちが召会生活のための聖なる生活をし、からだの生活を実行して、神の完全なみこころを遂行するためです——ローマ 12:1-2. I テサロニケ 4:4, 5:18:
1. わたしたちの墮落した体、すなわち肉は、サタンと罪と死の「集会所」です。しかし、キリストの贖いによって、また父と子と霊の「集会所」としてのわたしたちの再生された霊において、わたしたちの体はキリストの肢体であり、また聖霊の宮です——ローマ 6:6, 12, 14, 7:11, 24. I コリント 6:15, 19。
 2. わたしたちの体を守ることは、わたしたちの体において神の栄光を現すことです——20 節。
 3. わたしたちの体を守ることは、わたしたちの体においてキリストを大きく表現することです——ピリピ 1:20。
 4. わたしたちの体を守るために、わたしたちは自分の魂、古い人にしたがって生活してはなりません。このようにして、罪の体は失業し、解雇されます——ローマ 6:6。
 5. わたしたちの体を守るために、わたしたちは自分の体をどのような罪深いものにもささげてはなりません。かえってわたしたち自身を奴隷として義にささげ、わたしたちの肢体を義の武器としてささげなければなりません——13, 18-19, 22 節. ダニエル 5:23:
 - a. 「あなたがたの聖別、これこそ神のみこころです。すなわち、あなたがたが淫行を断ち、めいめい、自分の器をどのように聖別と誉れの中に保つべきかを知って」——I テサロニケ 4:3-4。
 - b. 神を知らないことが、人が情欲の激情にふける基本的な原因です——5 節。
 6. わたしたちの体を守るために、わたしたちは体を打ちたたき、体を奴隷とならせ、わたしたちの聖なる目的を成就して、聖なる都とならなければなりません——I コリント 9:27. 啓 21:2。